



# とび出す食草園のチョウ アサギマダラ

チョウの成虫がさまざまな花の蜜を吸うのに対して、チョウの幼虫は種類によって決まった種類の葉(食草)しか食べません。植物はさまざまな化学物質をつかって虫から身を守っているの、それを解毒できる幼虫だけが食事にありつけるのです。食草園をよく訪れるチョウとその幼虫と食草の関わりを紙工作でご紹介します。よく見かけるあのチョウの幼虫は何を食べているのかな? 近所で見かけた植物はチョウの食草だったんだ! 身近な虫や草花を注意深く観察すると新しい何かが見つかるかもしれません。

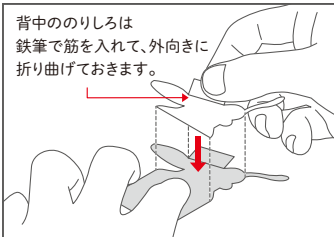


## 組み立てに必要な道具

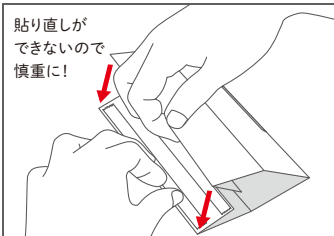
- カッターナイフ/はさみ
- カッティングマット
- ものさし
- 鉄筆やインクの切れたボールペンなど、先のとがったもの
- 両面テープ(10ミリ幅がおすすめ)
- 木工用接着剤
- つまようじ  
(接着剤を塗るヘラとして使います)

5つのパーツをていねいに切り抜き、説明図にしたがって組み立ててください。

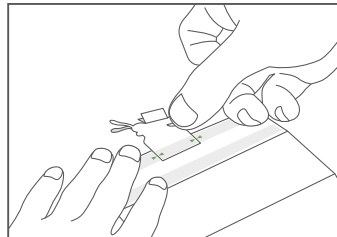
4 体をびったり揃えて貼り合わせます。背中ののりしろと触角はのりづけしません。



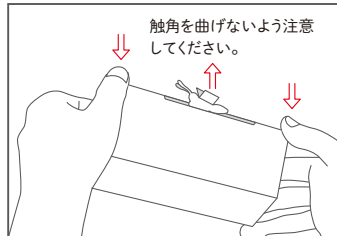
8 両面テープのはくり紙をはがし、角をぴったりと合わせて台座を閉じます。



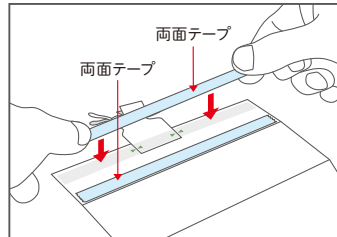
5 台座を開き、体の矢印とぴったり向き合わせてのりつけます。



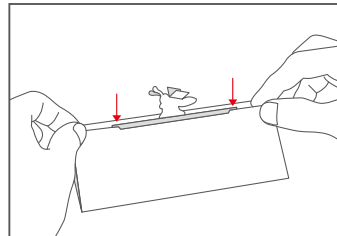
9 四隅を持ち、縦につぶすように台座を押さえると、体がとび出します。



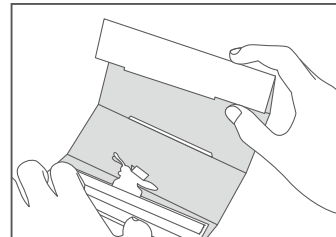
6 両面テープを2箇所に貼り、のりしろを覆います。はくり紙はまだはがしません。



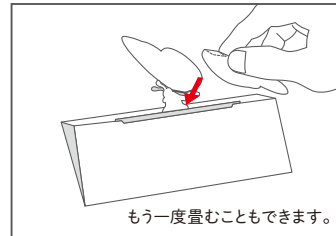
10 紙の出っ張った部分を、切り込みに噛ませてロックし、形を整えます。



7 体を内側にくるむように、台座を折り曲げます。

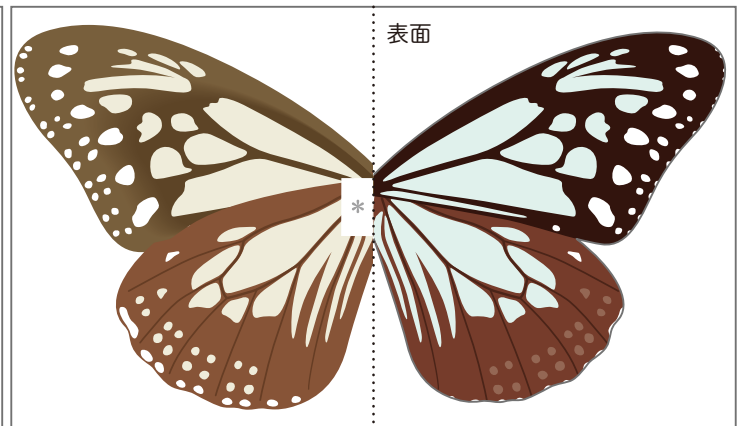
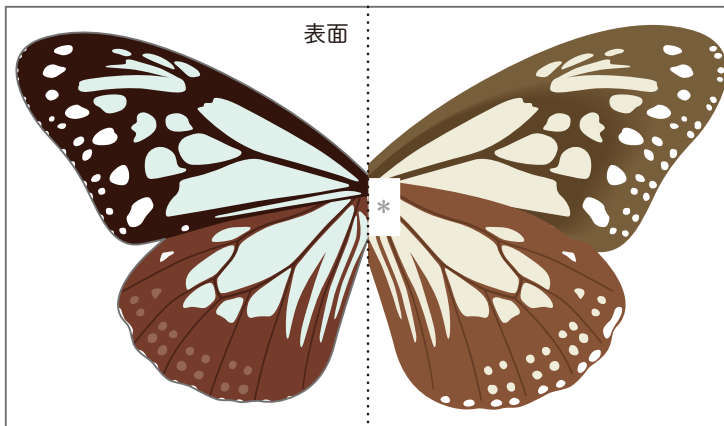


11 翅を背中ののりつけて完成です。翅を開いて飾りましょう。






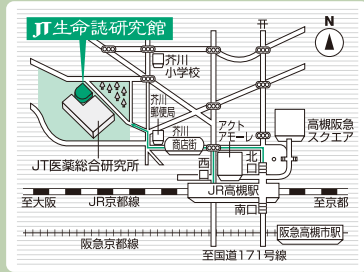
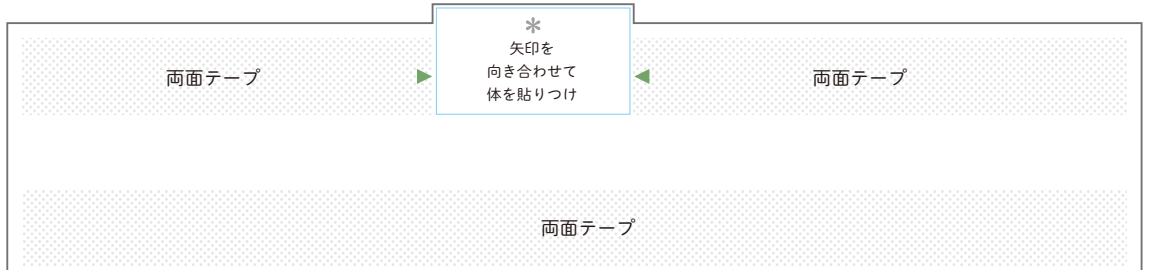
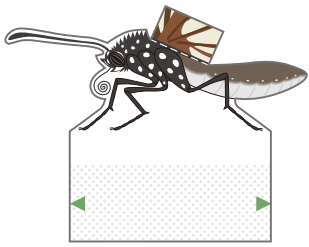
デザイン: 坂啓典(図工室)

翅は周囲の四角い線で切って真ん中で折り、裏面にまんべんなく接着剤を塗ってぴったり貼り合わせ、本などで押さえたら平らにします。接着剤が乾いたら、表面の輪郭に沿ってていねいに切り抜きます。



記号の説明

- 実線 — 切りとり線
- ..... 点線 ..... 山折り線
- - - 破線 - - - 谷折り線
-  切り抜き箇所
-  両面テープでのりづけ
-  接着剤でのりづけ

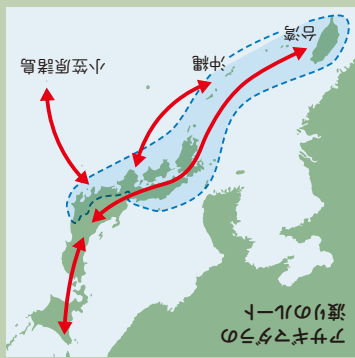


JT生命誌研究館

〒569-1125 大阪府高槻市紫町1-1  
Tel:072-681-9750(代表) Fax:072-681-9743  
<https://www.brh.co.jp>



開館時間 10:00-16:30 入館無料  
休館日 毎週月曜日/年末年始(12月29日～翌年の1月4日)  
最新の開館情報はWEBサイトでご確認ください。  
交通 JR京都線高槻駅より徒歩10分/阪急京都線高槻市駅より徒歩18分 JRのご利用が便利です。



長距離を移動するの、未だ謎は残されています。  
1ヶ月には2000km以上移動する個体も。なぜ海を渡るほどの  
沖縄から北海道まで観察される世代をたどって南下し、日本国内では  
九州を北上、秋には逆コースで南下します。日本国内では  
が明らかになってきており、春には台湾・南西諸島から海を越  
各地で観察されます。アサギマダラは季節ごとに日本  
長距離の飛行「渡り」をするアサギマダラは季節ごとに日本  
*Parantica sita*/鱗翅目/アサギマダラ科  
アサギマダラ  
撮影地:梅小路公園  
アサギマダラ



毒蝶アサギマダラ

幼虫が食べる食草、成虫が好んで吸蜜するフジバカマなどの蜜にはアルカロイドという毒成分が含まれ、それらの毒を身体に溜め込むことで鳥などの外敵から身を守っています。幼虫は食草に円形の噛み傷をつけてからその内側を食べるという独特な食べ方をします。これは植物が昆虫に齧られた時に出す防御物質を少しでも減らすアサギマダラの生きる知恵です。

幼虫の非常に派手な体色は毒があることを知らせる警告色と考えられる。



写真: PIXTA

食べ方の工夫

